

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	④保健衛生分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	〇島しょ地域における防疫体制の強化
主な取組	衛生環境研究所による感染症対策等に係る海外研修員との交流		対応する成果指標	感染症対策等に関する研修会への参加人数
施策の方向	・新型コロナウイルス感染症など世界的に拡大する感染症等の状況を踏まえ、台湾をはじめとする国内外の研究機関等との連携強化による国際ネットワークの充実を図り、疫学調査や感染症対策等の研究開発等を促進するとともに、琉球大学やJICA沖縄等と連携し、海外研修生の受入れ等による技術協力等を図り、島しょ地域における防疫体制の強化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
海外研修員受入事業を通じ研究者の交流を図るとともに、開発途上国の中央、地方政府の保健部局等の実務管理者等が、感染症対策計画、感染症に関する行政の役割、関係機関との連携体制、地域レベルで展開する予防対策について、日本、沖縄の事例を通じてそのしくみや機能を理解する。	県,JICA沖縄	海外研修員(感染症対策)受入		
		海外研修員(JICA事業等)受入回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	保健医療介護部地域保健課		【 098-866-2215 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画		
沖縄県内での実地研修を実施した。				沖縄県内での実地研修を実施する。		

活動指標名	海外研修員（JICA事業等）受入 回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1回	1 回	100.0%	順調	本研修は、参加者の国等の保健医療システム機能向上と、感染症への適切なケアや予防対策提供を目的としている。令和5年度からは実地研修となっている（研修名：地域保健システム強化による感染症対策）。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

JICA実施の沖縄県実地研修において、衛生環境研究所感染症研究センター職員が本県の感染症情報収集および発信体制等の公衆衛生行政に係る講義を行い、各国の衛生研究者への技術協力と国際的交流が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の実施改善案	反映状況
国立感染症研究所等との連携や研修参加により、沖縄県の公衆衛生に関わる人材を育成し、感染症の実地疫学調査や情報収集・解析を行う体制の強化を図る。	国立感染症研究所が研修を展開するFETP（実地疫学専門家養成コース）拠点との連携により、本県の公衆衛生に関わる人材育成が図られ、習得した技術等をJICA研修において提供することができた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	国際協力の推進をより強化にするため、最新の知見や他自治体の取り組み等の情報収集を継続的に行える体制の構築が必要である。	① 執行体制の改善	最新の知見や他自治体の取り組み等の情報収集に係る旅費や報償費を確保し、公衆衛生に関わる人材育成を図る。